

北京魯迅博物館 提供

北京時代の魯迅

西暦1912年-1926年



北京魯迅博物館所蔵

1917年 国立図書館業務を担当



北京魯迅博物館所蔵

1925年『阿Q正伝』海外版発行

1909年、魯迅は帰国後、教育者の道に進みました。

1912年、中華民国が成立。魯迅は北京に移り住み、教育部（日本でいう文部科学省）の仕事に就きました。彼は、社会教育の担当者として、図書館、博物館、美術館などを管理し、国子監（最高教育機関）・文化遺産などを監督。当時の中国で、数多くの先駆的な仕事をしました。

主催：仙台魯迅研究会、東北大学史料館

共催：日本中国友好協会 宮城県支部連合会

協力：北京魯迅博物館

期間：2023年5月18日(木)～7月21日(金)

場所：東北大学史料館 2階 魯迅記念展示室

北京時代の魯迅やその家族を紹介する書籍を同時展示。魯迅の弟・周作人、息子・周海嬰、親友・許寿裳が記録した資料です。